

業績ハイライト



事業の概況

金融経済環境

令和3年度の金融経済環境につきまして、年度当初は新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言等が断続的に発出されたことなどから、景気は力強さを欠く展開となりました。その後も、先進国における物流の停滞や労働力不足等による供給制約、世界的な経済活動の再開による資源価格の上昇等により、輸出や生産が減少することとなりましたが、国内でのワクチン接種の進展による経済活動の再開に伴い、個人消費が上向き、景気は持ち直しの動きとなりました。

年度後半からは、ウクライナ情勢等を受けた資源価格上昇の影響も加わり、世界各国で急速にインフレが進化したことを受け、先進国の金融政策は引き締め方針に転換することとなり、急激な円安の進行と資源価格の上昇が我が国の景気を下押しすることとなりました。世界情勢は不安定な状況が続く、資源・穀物価格の上昇や円安の進行が家計の実質所得や企業収益に対する下押し圧力を強めております。しかしながら、世界各国での行動制限の緩和により供給制約の影響が和らぐも、世界の経済活動が活発化に向かい、我が国経済も外需の増加や緩和的な金融環境、政府の経済対策の効果に支えられて、徐々に回復していくと思われま。

事業方針

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大による影響が続く中、供給制約や世界情勢の悪化による原材料価格の高騰等の影響が加わり、事業者の皆さまの経営環境は一層厳しさを増した1年でありました。このような環境の下、当金庫においては、1年延長した中期経営計画「**ミッション2020**」の最終年度にあたり、信金らしい「**Face to Face**」+「**Heart to Heart**」の行動に特化し、経済的な打撃を受けているお客さまを支える活動に全力で取り組んで参りました。その結果、特に事業性貸出残高が増加するなど、資金繰り支援を通じてお客さまに貢献するための行動の成果が実績として表れております。

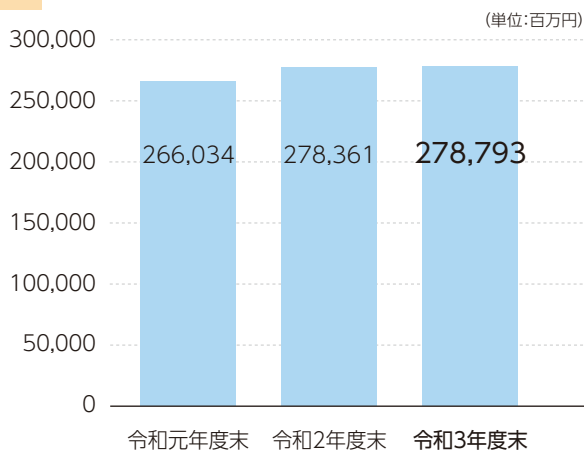
新型コロナウイルス感染拡大の長期化、緊迫する世界情勢、急速なIT化の進展など、地域の事業者の皆さま、お客さまを取り巻く環境は大きな転換期を迎え、将来の不確実性はますます高まっております。

そこで、当金庫では、お客さまの多様化するニーズに柔軟にお応えするため、事業者の経営、個人の生活、地域社会のサポートに邁進することを最大の目標として新たな3ヶ年の中期経営計画「**お客さまサポートプロジェクト**」を策定いたしました。そして、新中期経営計画のスタートにあたり、地元のお客さまや地域の成長と変化に、より積極的に対応される体制へと「**組織改革**」を実行いたしました。時々刻々と変化のお客さまのニーズにあわせ、役職員一人ひとりがお客さま、地域のサポート役に徹することで好循環を作り出し、地域社会の持続的な発展に貢献していく所存です。

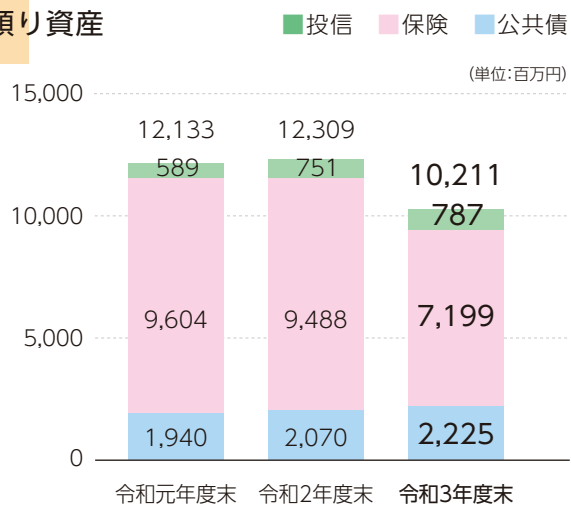


業績の概況

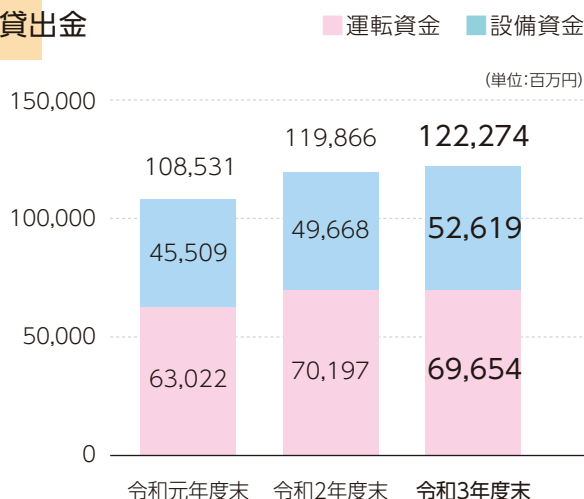
預金積金



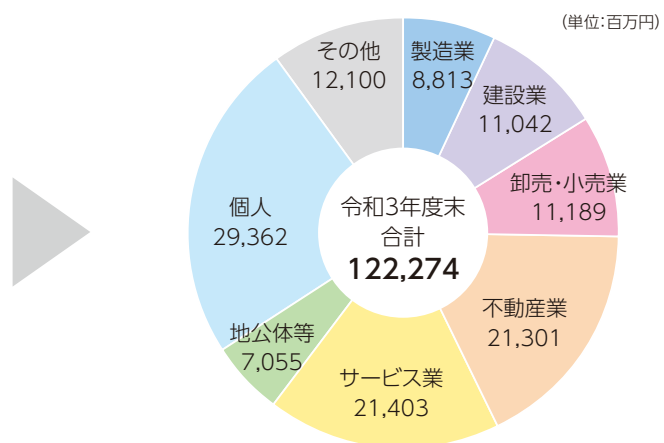
預り資産



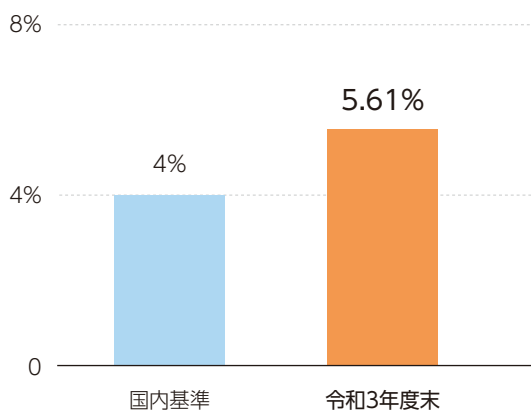
貸出金



業種別貸出金



自己資本比率



収益

(単位:百万円)

	令和2年度	令和3年度
貸出金利息	2,128	2,187
経費	2,232	2,199
経常利益	412	160
当期利益	339	118

業績の概況



「金融仲介機能のベンチマーク」について

とちしんは「地域社会の発展に貢献する」という企業理念の下、「地域で一番信頼される金融機関」を目指しております。その状況をお客さまにご理解いただくために「金融仲介機能のベンチマーク」の指標をとりとめました。(令和3年度実績)

メイン先

金融仲介機能を強化するため、メインバンクを目指しております。

- メインバンク(融資残高1位)としての取引を行っている企業数(個人事業主を含む)
1,330先 (取引先に占める割合 49.4%) (共通No1、選択No2)

事業性評価に基づく融資

企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価し(事業性評価)、地元企業の発展に貢献してまいります。

- 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高
15先、24億円 (共通No5)

※()内の番号は「金融仲介機能のベンチマーク」の該当する項目番号

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。

- 新規に無保証で融資した件数 357件
- 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合 11.2%
- 保証契約を解除した件数 30件
- 経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 0件(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)

事業再生・経営支援への取り組み

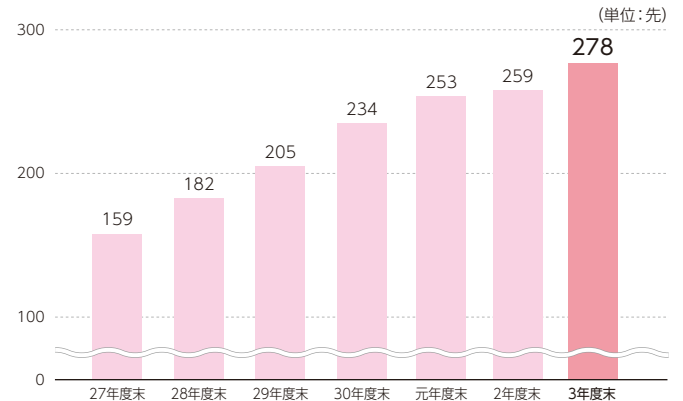
地域中小企業の経営改善支援に取り組んでいます

当金庫では、地域経営サポート部を設置し、栃木県中小企業活性化協議会等の外部支援機関や各専門家とのネットワークを活かしながら、地域中小企業の経営改善・事業再生支援に積極的に取り組んでいます。

活用事例は、経営改善計画書の策定支援の他、工場の採算性や在庫削減の取組み支援、労務対策、営業支援等の問題解決に向けて対応しています。

事業性評価に基づく取組みにより中小企業者の皆さまの多様化・複雑化する経営課題を解決するためコンサルティング機能の一層の発揮に努め、地域密着型金融の取組みをさらに強化しております。

外部支援機関活用による経営支援取組先数(累計)



不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

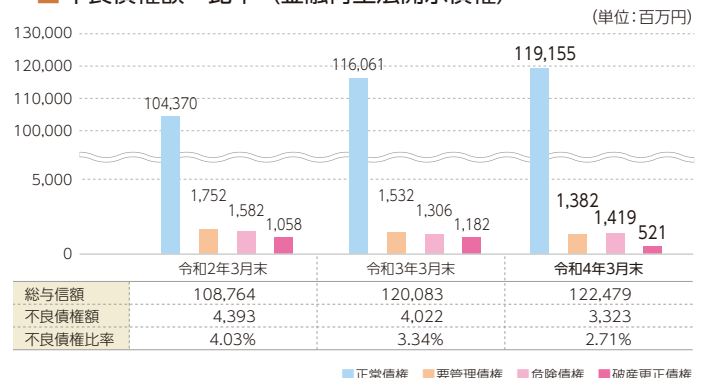
「金融機能再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」に基づく令和4年3月末の開示債権については、前期末に比べ698百万円減少し、3,323百万円となりました。

総与信額に対する**不良債権比率は、2.71%**と低水準にあります。

また、金融再生法開示債権から担保保証額および貸倒引当金合計額2,579百万円を控除した**実質不良債権額は743百万円、率にして0.60%**となっております。

また、担保保証額を全く考慮しない場合(貸倒引当金のみ控除)でも**不良債権比率は2.19%**となり、必要十分な手当を実施しております。

不良債権額・比率(金融再生法開示債権)



■正常債権 ■要管理債権 ■危険債権 ■破産更正債権